



東地申第5号「埼京線の乗務員基地再編について」 に関する解明申し入れを提出しました！

JR 東労組東京地本は、2022年9月に「埼京線の乗務員基地再編について」の提案を受け、関係職場の組合員と共に議論を重ねてきました。

乗務員基地再編は、日々の鉄道輸送を最前線で担う「乗務員」の仕事と職場環境に直結することから、経営のトッププライオリティである「安全」の観点からも慎重且つ丁寧に実施すべき施策です。

同時に私たちは、安全・安定輸送をお客さまに提供するために、乗務員が十分な休養と無理や不安を感じることなく業務に就ける環境をソフト、ハードの両面から整備していかなくてはなりません。

また、本施策は支社間異動により組合員や社員の私生活にも影響を及ぼすことが想定されるため、その実施については労使での濃密かつ真摯な議論が必要と考えます。

地域やお客さまだけでなく、働く組合員、社員からも親しみ愛される職場を労使で作りに上げる施策とするために、労働者側から「安全・健康・ゆとり・働きがい」が守られる新しい職場を目指し、東京地本は団体交渉に臨みます。

【申し入れ内容】

1. 大宮運転区、大宮車掌区が担当する埼京線・川越線の業務の一部を首都圏本部に移管し、埼京運輸区を設立するメリットを具体的に示すこと。
2. 埼京運輸区が担当する業務内容及び乗務範囲を具体的に示すこと。
3. 埼京運輸区に所属する社員数や異動の規模感を示すこと。
4. 埼京運輸区設立によって、施策を担うために支社間異動をする組合員や社員に対する首都圏本部の認識を示すこと。
5. 埼京運輸区設立にあたり今後どのように現場社員の意見を集約し、それを反映していくのか具体的に示すこと。
6. 現在判明している職場レイアウトや、旧品川運転区庁舎の間内改良工事の進捗状況とスケジュールを、今後変更となる場合があることを前提に具体的に示すこと。
7. 安全・安定輸送のさらなるレベルアップができる職場環境の整備について具体的に示すこと。
8. 「大宮支社の現業機関における柔軟な働き方の更なる実施について」の提案と、それに伴う「埼京線の乗務員基地再編について」の提案の廃案が、埼京運輸区設立に及ぼす影響を示すこと。

以上

働く側から安心・安全な職場環境を作りだそう！！

